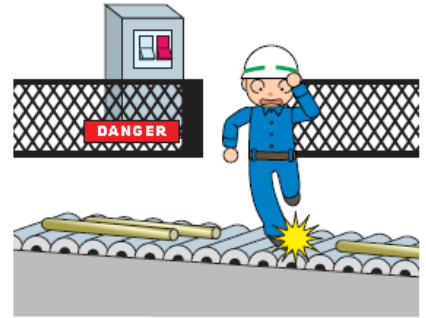


危険標識を見落としてうっかり、または危険であることを知らずに危険に接近、侵入する。許可された作業者なのに警報が鳴るのでOFFにしてしまう。



作業者は現場騒音で危険な機械の接近に気がつかず接触。クレーンやフォークリフトの運転者からは、歩いている作業者が死角に居て気がつかず接触事故

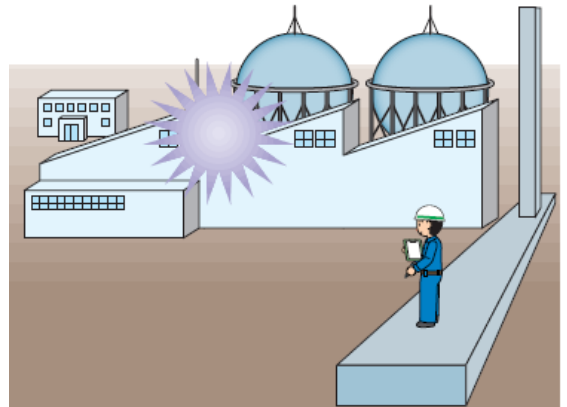


危険な場所で、防護柵などをふくめ設備対策はしているが、トラブル時には製造設備稼働中のままでやむなく立ち入る作業で、挟まれる領域について手足を入れてしまい被災。現場は光電管などの侵入センサーを設置しにくいので注意力しかない

鉄鋼や石油化学、造船などでは、広大な領域での一人作業があり、トラブルに遭遇することがある



一人で点検や復旧作業に出かけてかなりの時間になるが、連絡がつかない。探しに行くが、どの辺にいるのか？倒れていても救出が遅れる



ガス漏れ爆発火災などの緊急事態では、電源や通信インフラがダウンし、現場状況の把握や、緊急避難指示や現場での適切なアクションの指示が困難になる